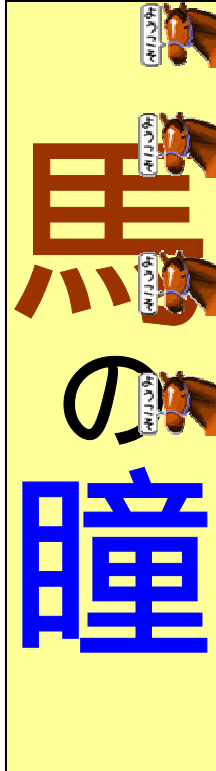


馬の瞳創刊 岸野 豊 挨拶

いつもご愛読ありがとうございます。今月号の挨拶を書かせて頂くことになりました岸野です。おかげさまでA.R.Cと出会い1年間のバイト時代を含め今月で3年と5ヶ月になります。僕は小学生の頃に乗馬を始めたのですが乗馬を通じて沢山の仲間や馬達と出会い色々な事を学びました。乗馬を始めたばかりの方も長く続けている方もA.R.Cでの出会いから色々な物を得てこれからも乗馬を楽しんで下さい。

A.R.C一同皆様にとって良い出会いとなれば大変嬉しく思います。



第四号
H17.9.15

馬の紹介コーナー vol.4

ミッキー



ポニー 駒 S59 17才位?(不詳)

ポニーのミッキーは平成6年からのつきあいです。

A.R.Cでは2頭目のポニーで、1頭目は随分前にいたシェットランドポニーのワシントンと言うポニーでした。ワシントンは、子供の引き馬程度でレッスンが出来るようなポニーではありませんでしたので、おとなしく扱いが良かった為、ポニーにはおとなしいイメージを持っていました。ミッキーはA.R.Cにきて最初に高田元気を乗せ大馬場の真中から手を離れた瞬間、馬場全面を使ったロデオを2週...当時小学一年生の元気は「お母さーん、止めて止めて!!!」と叫んで体を恐怖で小刻みに震わせていた事を今でも覚えています。

今でこそ一般レッスンに使っていますが来た当初は蹄跡(ていせき)も知らない、もちろん部班も出来ない、立ち上がる等々...大変な未調教の野生に近いポニーでした。徐々に日々の調教が進み今に至ります。彼のエピソードを話したら数知れず、一度クラブから逃げ出すと大勢で追い詰めないとなかなか捕まらず近隣の田畑を荒らし農家の方に酷く叱られた事も何度か...今では可愛い顔をしてA.R.Cの練習馬としてお仕事をしていますが、小さい子供さんのレッスンには最適です。高田家三兄弟もミッキーのおかげで乗馬に馴染むことが出来ました。会員の皆さんミッキーは可愛いです!しかし気を抜かずにお世話してやってください、気を抜くとやらかします!



馬具のお話 vol.4

乗馬用品として、ヘルメット、キュロット、ブーツが大きな道具となりますが、今回はブーツについてお話しします。

ブリティッシュ乗馬の場合ブーツをはくのが主流ですがブーツの役目は、乗馬をして鎧を履いた時に、鎧皮がふくらはぎの内側にあたり、足がすれてしまうのを防ぐ役目をはたします。

又馬を動かす時に膝から下の脚を使う時に合図が伝わり易くする為に乗馬用ブーツを使用します。

ブーツには皮で出来ている長靴と合成皮革で出来たエクイヤーと大きく2種類あります。

初心者のうちはエクイヤーで充分ですが中・上級者の方は長靴が必要になってきます。

エクイヤーは靴の間に余裕がある分、細かい脚の合図を送るのは難しくなります。

まだ長靴をお持ちで無い方は是非ご購入下さい。

ご自分によりピッタリした長靴は、ブリティッシュ乗馬の必需品です。

長靴購入後はエクイヤーはお手入れ時の長ぐつとして使用できます。

長靴 セミオーダー 80,000円 ~ 長靴 フルオーダー 75,000 ~ 95,000円

他にも種類は色々あります、詳しくはスタッフにお尋ね下さい。



先月の大会

第26回 東海ブロック大会 於:御殿場競技場

8月19日~21日 静岡御殿場競技場にて本年度の国民体育大会の出場馬を決める。予選会である東海ブロック大会が開催されました。A.R.C空港乗馬倶楽部からは会長、高田康司、木村勇也、間宮理恵の4選手とカサリナ号、フェスティバル号、フォーシーズン号、フィンレイ号の4頭が出場し、暑い御殿場の地で全力で戦いました。結果は次の通りです。

成年男子 セントジョージ賞典馬場馬術競技

高田 大介	フェスティバル	2位
-------	---------	----

少年スピードアンドハンディネス競技

間宮 理恵	フィンレイ	8位
-------	-------	----

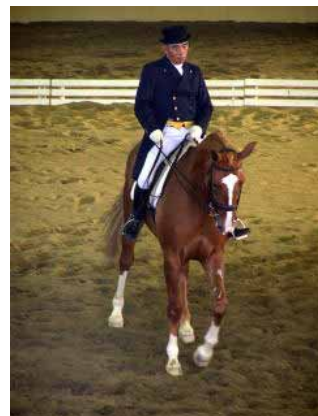
成年男子 国体総合馬術競技

高田 大介	フィンレイ	3位
-------	-------	----

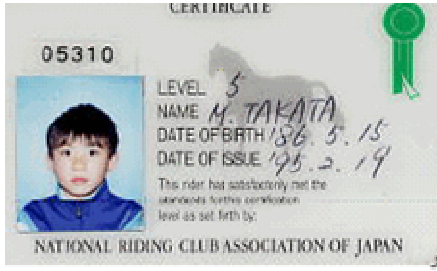
高田 大介	カサリナ	6位
-------	------	----

少年団体障害費越競技

木村 勇也	フォーシーズン	優勝
柘植 和也		



イベント告知
 9月25日に技能認定試験を開催します。乗馬を楽しみながら、ライセンスも取得しましょう。
 ライセンスは、(社)全国乗馬倶楽部振興協会が定めた全国共通のレベルを計る事の出来るものです。
 1級～5級に順にチャレンジしていけば楽しみながらレベルアップができます



競技会告知

第37回東海ホースショー馬場馬術
 10月1・2日愛知森林公園にて第37回東海ホースショー馬場馬術が開催されます。
 11月には25日～27日に第38回東海ホースショーが開催されます。
 競技会に興味の有る方、自分の実力を試してみたい方ふるってご参加下さい。
 競技内容、参加希望される場合はスタッフまでお願いします。



A.R.Cホースショー
 11月6日A.R.Cホースショーを開催します。多種多様な競技を準備してお待ちしております。
 会員さんも参加して皆で盛り上げましょう！！
 競技会後はバーベキューを予定してます、そしてスタッフの恒例出し物があるかも？いや無いかも？
 乗馬シーズン到来です。A.R.Cホースショーではじめてみませんか？



馬学講習会

9月10・11日に会長の直接指導による馬学講習会が開催されました。
 参加された会員の皆様お疲れ様でした。今回の内容は皆忘れがちな基本について徹底した指導をして頂きました。
 参加された会員さんからもとても勉強になったと言葉を頂きこれからも定期的開催したいと思います。
 もしも個人的な質問が御座いましたら御意見箱に投稿して下さい。実名匿名どちらでも構いません。
 次回の馬学講習会も皆様ふるって参加してください。

指導部よりお知らせ

日頃はA.R.C空港乗馬倶楽部をご利用頂きまことにありがとうございます。
 この度指導部では、皆様の技術向上の為、カリキュラムを作りました。
 ご希望される方は折込の『上達への道標』にお名前を書き、騎乗後に指導にあたったインストラクターとチェック、
 復習をしてください。皆様が有効に活用して頂ければ幸いです。
 また9月27日より、乗馬技能認定試験3級をより多くの方々に合格して頂く為にA.R.C独自のライセンスである準3級を設けました。3級を受験される方は大馬場で練習するので準3級を合格できる程度の技術を必要とします。準3級を取得された方は3級を受験する事が出来ますのでご希望の方はスタッフまで申し出てください。

スタッフそれぞれ記事
高田大介コラム「私の好きな物」

1番乗馬、2番陶芸ですが今回は食べ物のお話です。

1番はお寿司屋です。『うに』『とろ』『あなご』大好きです。生の『岩ガキ』『セルガキ』も好き、しかし実を言うと『うずら』が大好きなのです。多分、小学生高学年から中学生の成長期にお腹が1番減る頃の夕方に晩御飯を待たず、生卵をご飯にかけて、少しだけ醤油をかけたタマゴご飯が美味しかった記憶がトラウマになっているのだと思います。その頃流行っていたチキンラーメンも美味しかった記憶がありますし、今では少なくなりましたが10件ほどの店が入った『市場』八百屋、魚屋、肉屋等が並ぶ一番奥のうどん屋の中華そばが美味しかった記憶が有り、今でもラーメンは大好きです。夕方お母さんの買い物かごを見ると大抵お母さんの好物『あられ』が入っており、一人で『ポリポリ』一袋全部食べてしまっただけに叱られていた記憶が有ります。今でも『あられ』と『餅』は大好きです。私の成長期に流行っていたホルモン焼きは、今でも好物、しかし成長期の大好物の中でも『うどん』『茶碗蒸し』『コロッケ』は残念ながら好物の中から少し脱落してしまいました。『すき焼き』も大好物でしたが大人になり『しゃぶしゃぶ』を食べてから『すき焼き』はまあまあ程度に落ちました。『歴史は夜作られる』と言う格言がありますが、『好物は成長期の夕方作られる』が私の格言です。

高田葉子コラム「やっとなつて秋が来た！」

すっかり秋らしくなった今日この頃です。名古屋の夏は今年もすさまじい暑さで早く秋が来るのを心待ちにしていた私です。今年の夏はサマーキャンプに始まり外乗ツアー、競技会と様々な行事があり次の行事、次の行事と思う間にとうとう8月が終わってしまいました。A.R.Cの馬達は暑い夏も、頑張ってお仕事をしてくださいました。会員さんも汗を拭き拭き乗馬に励んで下さっていました。本当に皆に感謝、感謝！！いよいよ秋からイベント行事がいっぱいで考えただけでも胸がいっぱいになります。とにかく頑張ってください。追伸：今年の夏は『キララ』一人得した夏でした。この場をお借りして猫ちゃんに餌を持ってきて頂いている会員さんに心より感謝いたします。ありがとうございます。

星野龍之介のスイートメモリー「妹と私」

実家に帰ると、玄関に兄妹三人で海をバックに写った写真が飾られていた。夕日を後ろにかざした写真の中央にいるのは長男の私であった。その左隣に上の妹、その右隣に下の妹と懐かしい写真であった。上の妹が大学で関東に行ってしまった今では、兄弟三人顔を合わせることも少なくなり、たまに会うと少し気恥ずかしいものである。長男の私はやんちゃ坊主でよく親に怒られた。父に家を追い出される事もしばしばあり、それを見て育った上の妹は真面目に育った。子供ながらに弟が欲しいと思っていた矢先に上の妹と年子で下の妹が生まれた。とても残念で、両親に「なんで男の子じゃないの？」と質問攻めにした記憶が残っている。この妹が年子のせい、すぐ上の姉の言う事に反抗し、お兄ちゃんっ子になってしまったのだ。この妹がタイトルの妹である。さて、妹が生まれ残念がっていた私だが、歳も離れている為か、だんだんかわいくなってきたのだ。この妹がやっとなつて立ってようになってきた頃、子供向けのミュージカルを家族で見に行った。休憩時間に私が階段の2、3段目から飛び降りて遊んでいると、ちょうど親の目が離れた隙に、妹が這い這いするようにして2段目まで上がってきてフラフラと立ち上がった。次の瞬間、腕を振り勢いつけた妹は飛んだのだ。歩き始めて間もないのに飛べるはずも無く、大惨事になった。妹は心臓停止、今となっては笑い話だが、救急車ですぐに病院に運ばれた。幸い、特に大きなケガも無く済んだが、私は永遠に説教をされた。家族で旅行に出かけた時、私は旅館の部屋にBB弾を発見した。何かを見つけると嬉しくてしょうがない時期で、転がしたりして遊んでいた。妹が欲しいような目で僕を見ていた。あげたくは無かったが、妹にあげた。10分後、耳の中に入れて取れなくなったと言い、妹が私の所に来た。また、親に怒られると思い、どうにか取り出そうと思いついて妹の頭を振ったりしたが出てくるはずも無く、親に見つかり妹は耳鼻科に連れて行かれた。その時も、二人並ばされ親に説教された。数々の事件を起こす妹と、その度に一緒に怒られる私。ある時、僕と妹だけよく怒られ上の妹はあまり怒られないという当たり前の事に二人で腹を立て、お父さんとお母さんは私達が嫌いなのだという大きな勘違いをして家を二人で出て行った。まだ、小学生にもならない妹と二人で手を繋ぎ、最初はピクニックにでも出かける時の様にウキウキした気分だった。公園で遊び、日が暮れてきた頃、ようやくとんでもない事態に気づいた。この公園が何処なのか分からないのだ。知らない道を歩き、たどり着いた面白そうな公園で、私達は迷子になっていた。最初に二人で家を出たときの心境など忘れ、ただお家への帰り方がわからない不安。小さい妹の小さい手を握りながら、その不安感を妹に伝えず安心させようとする為に心の中はすでにパニック状態だった。とりあえず、この道だったかなと思う所を少し早歩きになりながら歩く。知らない大人が妙に怖く感じ、妹は泣き出しそうになっている。しばらく行くと運のいい事に知っている道に辿り着いた。あと5分くらいで家に着くというところで、妹が「お兄ちゃん、お金が落ちている」と言った。そんな事どうでもいいと思いつつ下を見ると一万円札が沢山。ビックリしながら拾い集め、ドキドキしながら走って家に帰った。家に帰ると、頭から湯気が出るほど怒った父と、心配で泣きそうになった母の姿があった。怒られる前にお金が落ちていた事を話し、ポケットから全部出すとなんと23万あったのだ。その事件のお蔭で、私達はあまり怒られずに済んだ。父は警察に届けに行き、母は心配のあまりとても優しくなった。数々の事件を起こした我が家の問題児の私と妹は、ずっと仲良く生きている。妹と私の仲の良さは未だに変わらず、妹が何かすると離れているのに電話で私も怒られる。何故妹が私に似たのかよく分からないが、なんでお兄ちゃんに似たのかな～と母はいつも嘆いている。ただ手のかかる子ほどかわいいではなく、手のかかる妹ほどかわいく、私は今もこんな子が幸せになれるのかなと心配に思っている。

岸野豊のマイソロジー「続々きついの愛犬」

前号までに続けてさくらについて書きます。我が家の家族として定着した愛犬さくらは、さらに大きくなってもうクラブの犬の『ちゃちゃ』を追い抜いたかもしれません。最近、散歩も初めて、僕がお休みの日にクラブまで散歩に来たりもしています。すごい元気で、一緒に走ったりしますがかなりしんどいです。さくらは人懐っこいと思っていたのですがそうでもなくて、すごい怖がり、慣れた人以外からは必死で逃げます。犬からも逃げます。掃除機からも逃げます。子猫のキララからも逃げます。ただどうやら散歩は大好きなので出来るだけ沢山してあげたいと思います。先月末には部屋を一つさくらに与えました。で、今はその部屋で放し飼いにしています。シートを破ったりでその部屋は大変な事になってますけど……。

小島貴志のインナースペース「王蟲(オウム)の念話」

どうも、ここA.R.Cでインストラクターをしている小島です。お盆をすぎたら秋ですね、なんてよく聞きますが…本当にそうなんですかね！暗くなるのが早くなったなあ、なんて実感したのも丁度それくらいの時期でした。昼間の暑さもやわらかく流れる風は爽やかになってきましたね。しかし！それでも馬に乗ると熱くなりますよね？！それだけ乗馬は面白いということですよ！これからも春夏秋冬問わず楽しんでいきたいと思います。

さて、先月、先々月と馬の丸洗いについて少々書きました。どうでした？会員さんの中にはアレを読んでそのことについて聞きに
る方もいてなんだか嬉しくなっていました。そこで！今月は簡単なお馬さんのマッサージについて書いてみようかと思ひます。馬の
頂(うなじ)を指もしくは手の...平の手首に近いところ(すみません、名前がわからなくて)で驚(たてがみ)をはさむように押してみましょ
う。少しずつ馬が頭を下げてきたら気持ち良い証拠です！そのまま肩のほうに手をずらしながら圧迫してあげましょう。背が届かない！な
んてことはありません、台を使えば片方ずつでもやれるはず。圧迫でほくしてあげたら今度は軽く叩いてみましょう。肩叩きと同じ
要領で圧迫していた場所をトントンとやってあげましょう。但し！どの馬でも喜ぶわけではないので注意してください。人間でもいる
ように触られるとくすぐったい、痛いからやめて！と思う馬もいるかもしれません。ですので、試す時はおとなしいお馬さんが慣れている
お馬さんでまずやってみましょう。

話がまったく変わりますが...今度の10月頭に私、不肖小島、初級指導者認定試験を受けて参ります！まだまだ至らないところがあり
ますが、なんとか合格できるよう日々練習している次第であります。基本的に隠れて練習しているつもりですが、もし！見つけてしまっ
たら...そ~の~と~き~は~気づいた事、感じた事、なんでも言って下さい。お願い申し上げます。応援してください、なんて言いま
せん.....しる。てへっ
今月の名言『それぞれの道(ロード)を人は皆歩いている』

伊藤大介の中部屋「俺はこうして巡って来た。Vol04」

えー...まあ偶然なんてものは続くときは続くものでして前回の『馬の瞳』でお話させて頂きました”友人の報告”なのですがつい先
日『別の友人』から連絡がありましてこの『友人』は連絡してくれるなり突然「オレ以前話していた彼女と結婚するから！」そして僕が「よ
かったね、おめでとう！」と言葉をかけるに「いわゆる出来ちゃった結婚だけだね！」...！！？「またですか！？」とおもいましたよ。実
は以前書いた『友人』もそうだったんです。二度あることは三度あると言いますからね。...僕が『友人たち』からの報告に耳を傾けてお
きたいと思ひます！それでは本題に入りましょうか。

今回は研修所での”仲間”について話させて頂きたいと思ひます。その研修所の仲間は男8名女1名の総勢9名に及ぶ研修生のタマ
ゴ達です。このお話だけ皆の紹介をするには時間が掛かり過ぎるので、まずはその中でも1番お世話になった4才年上の寺越法隆さん
(以後ノリさん)についてお話ししたいと思います。ノリさんは僕の同期(実は前半6名後半3名に別れていた。ちなみに僕は後半組み)で年
上だった事もあり寮生の仲間達から慕われておりとても責任感の強い人でした。ノリさんは”F1”が大好きでテレビ放送しているときは
必ず録画して(テレビ放送では夜中なので次の日にヒビクため録画...でも本当はテレビを生で観たかったらしい)翌日観る程好きだった
のです！そんなノリさんにある時突然悲劇が襲いました。それはある日寮の部屋での事、ノリさんの携帯電話に一本の知らせが届きま
した...「おー！久しぶり...」のお決まりの言葉で話が始まったと思うとどうやら話をしているのは”F1”の話のようです。話が盛り上が
りしばらく続いていたかと思うと突然「えーっ！？マジでっ！？」と悲鳴にも似た叫び声が！僕は驚いて話に耳を傾けるとどうやら何か
のレース観戦のお誘いだったらしく...ですがもちろん滋賀県に研修に来ている(ノリさんは東京出身)ノリさんが行けるはずもなく泣く
泣く断ったもよう。その後数日間ノリさんの覇気がまったく感じられませんでした、よほど行きかけたのでしょうか...よほどショックだった
のかあまり落馬しない事で有名だったノリさんが電話の次の日彼は何でも無い所で落馬していました。

今回は『友達』として仲の良かった榎本君についてお話ししたいと思います。

宗像義明の小言「墓参りと非日常と焼肉と牛乳パックと人間関係が与える影響における生活環境の変化」

八月上旬、自分は実家に帰宅しました。理由は父親の墓参りです、しかしその目的を根底から覆すような悲劇も起きていました。
地元に戻れば久しい馴染み達が雁首(がんくび)揃えて集まります。
特に幼少期からの付き合いだった悪友が変態していたので吃驚！今回はそれについてお話をさせていただきます。
その友人は2年ほど前から、バイト先の女性とお付き合いをさせて貰っていて紹介してくれるほど仲睦まじい関係でした。しかし時間
の流れとは残酷なもの、自分が帰宅した時にはその関係は白紙になり彼も同時に真っ白の灰になっていました。理由は聞きません
で、とても聞ける状況ではなかったのです。それほど変わっていたのです...彼の体型と室内が。
以前はホコリすら許さない空間だった場所が天上に届きそうなゴミ袋の山脈に囲まれたプチごみ屋敷に大変身、彼の体重も60kg前後
が90kgに大増量。廃人に等しい印象すら受けました。鼻を摘みながら彼の話す彼の部屋で聞く。
5ヶ月前に自分が入って以来誰も入れていないらしい、窓も開けていないらしく窓の隙間に埃が沈殿し開けようと思っても開けられない
状況でした、同情を通り越した哀れみを感じてしまいました、そして同時に言いたい無しの無い怒りも感じていました。
(なぜそこまで汚せるのかって部分に、)

そして二日間泊り掛けで彼の部屋の清掃に取り掛かりました。
しかしその二日間では半分ほどしか片付ける事が出来ませんでした。
それ程凶悪だったのです。コンビニの袋に敷き詰められたゴミの海、ペットボトルの山、危険な匂いを醸し出す牛乳パックの壁。
暗黒世界がそこにはありました、それは日常の中の非日常...悲劇を通り越した喜劇...
夏真っ盛り外の蒸し暑い空気が美味しいと思えるほどあの一室は澱んでいたのです。
ですが奇妙なサルベージも幾度もありました。自分が以前に貸したゲームやら貯金通帳やらレア物のB zのレコードとか...
規格外級の大きさの蜘蛛の抜け殻や今では廃刊された昔の漫画...挙句の果てには部屋の隅に生えていたキノコ...これは冗談抜
きで叫びました。もはや神経まで毒されたのかそんな物を捜し当てて一喜一憂する二人...いま考えるとこれ以上無く惨めだ
と思ひます。帰宅前日に父親の墓参りをしました、その時始めてまともに家族と会話をしたような気がします。
その時、何の為に自分は帰ってきたのだろう？と初めて思いました。
その夜彼から夕食を誘われ焼肉を食べました(ワリカンで)少しだけ精気を取り戻したような雰囲気を感じ欠片ほど安心が出来ました。
今度自分が戻るまでには部屋を完全に元に戻すと約束をしてくれました。
まあ戻っていなかったら必殺技の社固めで蟹のように泡を吹かせるだけですが...
おっと！必殺技って『必ず殺す技』ですから縁起が悪い、この場合は『必ず落とす技』で必落技ですね
皆さん、部屋の掃除は大切です、足場がある程度に片付けましょう。

中島恵の「ある月曜日のお話」

8月某日、A.R.C.Iに『CBCラジオ』がやってきました。アナウンサー女性の方で、とっても感じの良い方でした。アシスタントの方も女
性で、動きが機敏で活発そうな印象を受けました。乗馬倶楽部を意識してか、ポロシャツはラルフローレンでした。あえて二人には突っ
込まなかったけど...しかし、ラジオが来たのは休日の午前中！当然の如く私はまだ夢の中...そこへ電話が「call」寝ぼけ眼で画面
を見ると、クラブから。何があったかと思ってみると「ラジオに出る」とのこと。人の睡眠邪魔してまで冗談言うなー！！怒
と、起こった配慮けれどまじめそうな声。恐る恐る「本気ですか？」「本気です。」嘘のようなホントの話。嫌々承諾。急いでクラブへ向か
いました。ついたら既に打ち合わせが始まっている様子。直前まで宗像さんが出演という話だったそうで、宗像さんにジュース奢って貰
いました

馬をいいタイミングで鳴かせるのは難しい、本番収録中に暴れだす、鳴いてくれない、アナウンサーによだれを付ける...
動物って難しいですネ(苦笑)